

産禅洞だより

■ 岐阜環境医学研究所・産禅洞診療所
 ● 呼吸器疾患・禁煙治療・漢方相談
 診察日：月曜・木曜・金曜
 受付時間：9:00~12:00
 〒502-0017 岐阜市長良雄総878-16
 IP Tel:058-295-9545
 FAX:058-296-3903
 E-mail:zazendoh@ccn.aitai.ne.jp
 http://zazendoh.town-web.net/
 第144号 2016.3.1.
 毎月1回発行 産禅洞診療所 松井英介

岐阜市2016年度当初予算案	
1000億円増	2.9%
114億5000万円	2.7%
122億7000万円	3.3%
100億円増	3.3%
272億8000万円	3.4%
※16年度実績比、17年度決算比	

2750.5%

小中全校にタブレット 岐阜市新年度予算案

健やかな未来を子どもたちに

松井英介

岐阜市は2016年度予算案に、市立の全小中校と特別支援学校計70校にタブレット①と②の端末を導入する費用1億7千万円を盛り込んだそうです。

この記事を読んだとき、私の口から発言は、「何だ、これは?!」。そして直ぐに思い出したのがイギリスのシュワート報告です。それは、「16歳以下の子どもには携帯電話を使用させないように」との勧告でした。フランス、ロシア、イスラエル、フィンランド、スウェーデンなどが子どもの携帯電話使用を制限あるいは禁止する勧告を出しています¹⁾²⁾。子どもに対する電磁波の影響はおとなよりずっと大きいからです。

携帯電話とタブレットは違う。放射線や電磁波は距離の自乗に反比例して弱くなるから、脳や眼球から離れたところで使うタブレットはより安全だと言われるかもしれません。でも考えてみてください、子どもたちは卵巣や睾丸に近いところにタブレットを置いていませんか?

もうひとつ考えなければならないのは使用時間です。スウェーデンの研究によれば、10年間使いつづけると使用者の50%が電磁波過敏症になるとされています³⁾。子どもたちのいのちと健康を守るために、岐阜市3月市議会は予算案からタブレット端末導入費用を削除すべきです。

ヴラディー・ミル・チェルトコフ来日 映画と講演

日時 2016年3月26日(土)
10:30~15:15
会場 円徳寺 (岐阜市神田町6丁目24)
料金は 講演費 1,000円



乳癌保存ネットワークの発足を記念して、映画と講演の集いを企画しました。3月26日(土)10:30~15:15、円徳寺(岐阜市神田町6-24)。チェルノブイリ原発事故で深刻な被害を受けたベラルーシやウクライナで丹念な取材を重ねられたイタリアのジャーナリストV・チェルトコフさんをお迎えします。

3.11 原発事故から5周年
「乳癌保存ネットワーク」発足報告書

上映作品はドキュメンタリー映画「真実はどこに」と「サクリファイス」です。

子どもたちの健やかな未来を願う私たちが、チェルノブイリの経験を学ばなくてはならない機会だと思います。彼の著書「チェルノブイリの犯罪上・下」(2015年緑風出版)にも、お目通しください。



参考文献：

- 1) 荻野晃也「健康を脅かす電磁波」(2007年) 緑風出版
- 2) 矢部武「携帯電磁波の人体影響」(2010年) 集英社新書